

# TECH 21

SANSAMP™  
PSA 2.0  
TECH 21·NYC



## USER GUIDE

### 1 はじめに

Sans Amp PSA 2.0 は前作の PSA ラックマウントタイプと同様の構造を持つシンプルな操作性、必要不可欠な機能、そして驚くべき多様性を持ち合わせた新しい PSA モデルです。プロのレコーディング・スタジオで定番とされていた SansAmp PSA ラックマウントは数多くのレコーディング、アーティストのワールドツアーの現場で活躍しました。残念なことにこのモデルに使用される特定のパーツが使用できなくなったため生産の撤退を余儀なくされましたが 30 周年記念を機会に再設計するだけでなくペダルの再構築の実現することに成功しました。SansAmp PSA 2.0 はシンプルな操作性、中核となる機能、驚くべき多様性を提供。また、3 チャンネルストンプボックスに変換可能な、パフォーマンスモードも備えています。PSA2.0 にはパンチのあるアナログ・シグナルパス、レスポンス、デジタル・リコーラと組み合わせたオーガニックなサウンドの他にもバズ、パンチ、クランチ、ドライブ、ゲイン（以前のプリアンプ）、ロー、ハイ、すべてのオリジナルコントロールを搭載しています。128 のメモリーを駆使したプログラムの保存と再現の操作はとてもシンプル、このギアを使用するための特別な技術は何も必要ありません。ノブを回せばリアルタイムでサウンドの違いがすぐに把握しつつご自身でトーンを設定して「保存」ボタンを押すだけです。スタジオでは直接レコーディングしたり、ミックスダウンで既存のトラックを強化したり、ドラム、管楽器、ボーカルといった他のどんな楽器にも奥深いタッチを加えることが可能です。ライブではギターやベーススピーカーキャビネットを備えたパワーアンプへ直接つなげるプリアンプとして、P.A システムへ（または双方向へ）の「モンスターダイレクトボックス」として、さらに外部機能としてご使用いただけます。

### 2 クイックスタート

本機および機材に慣れた方向けのマニュアル全体を読む前に SansAmp PSA を起動して実行する手順を説明します。

1. 楽器からの入力を Input ジャックに入力します。
2. output からミキサーまたはアンプまたはパワーアンプの入力へ接続します。
3. 電源を接続します。ディスプレイに 00（バイパス）が表示されていることを確認します。（00 以外が表示されている場合は、00 に設定します。）
4. アンプまたはミキサーの電源を入れます。（ミキサーがモニターに接続されている場合や、録音環境では、パワーアンプとスピーカーもオンになっていることを確認してください。）
5. アンプまたはミキサーの入力レベルを少しずつ上げます。信号が大きすぎる場合や歪む場合や弱すぎる場合は、アンプまたはミキサーの入力コントロールを調節してください。また、本機の Trim コントロールも合わせて調節してください。
6. 楽器を演奏すると、システムを介して音が聞こえます。音が出ない場合は、接続を再確認し、ギター本体のボリュームコントロールも確認してください。
7. UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してプログラムを選択します。本機には、工場出荷時のプリセットとして 49 のプログラム（01-49）が設定されています。（後項リストを参照）。工場出荷状態ではプログラム 51-99 は、プリセット 01-49 の複製です。100~127 は、すべてのノブは 12 時の位置にプリセットされています。プログラム 00 と 50 はバイパス状態に設定されています。詳細については、後項「プログラミング」を参照してください。

### 3 接続

#### プリアンプとして接続：

本製品の出力を直接パワーアンプの INPUT（またはベースアンプの「エフェクトリターン」）に接続します。これによりアンプのプリアンプ部をスルーして本機でコントロール可能です。

#### 外部エフェクトとして接続：

1/4 インチ出力をアンプのフロント入力（メインの入力端子）に接続します。最良の結果を得るには、アンプへの入力が過負荷にならないように、SansAmp のレベルを必ずユニティゲイン（出力レベルが本機の ON/OFF 時でほぼ同じ状態）に近づけてください。

#### 歪みアンプとの接続：

1/4 インチ出力をアンプのフロント入力（メインの入力端子）に接続します。PSA の LEVEL や TRIM コントロールで出音の音量を調節します。

#### パワーアンプとの接続：

1/4 インチ出力をアンプのフロント入力（メインの入力端子）に接続します。PSA の LEVEL や TRIM コントロールで出音の音量を調節します。

## 3 接続

**ダイレクトにレコーディングする：**

ミキサー / レコーダーの入力に直接接続して、SansAmp のオンボードサウンドを使用することができます。ミキサー / レコーダーのようなフルレンジシステムでは幅広い周波数を録音 / 再生が可能です。SansAmp の EQ 設定を調節して最適なサウンドを見つけてください。

**ミックスダウンに使用する：**

ミックスダウンで使用すると既存のトラックをパワフルに変更することができます。ギターやベースだけでなく、弦楽器、ドラム、管楽器、ボーカルなどにも使用できます。PSA 2.0 はインストゥルメントレベルであることに注意してください。入力が過負荷にならないように、ボードのレベルまたは PSA の設定を調節してください。

## 4 接続端子

**INPUT：**

1/4 インチ 1 メガオームのインストゥルメントレベル入力端子。ギターまたはベースのピックアップからのトーン、または他の楽器からの信号が劣化することなく SansAmp PSA に到達するように、インピーダンスバッファーを備えています。通常、入力への信号レベルは一般的なギターのレベル（約 -10dBm / 250mV）に調節してください。

**UNIVERSAL OUTPUT：**

1/4 インチアンバランスローインピーダンス出力端子。ハイインピーダンスなアンプ（またはエフェクト）とローインピーダンスなミキサーやコンピューター入りに接続できます。出力レベルは、ペダルがバイパスモードのとき、ユニティゲインです。また、バイパス状態で、長いケーブルを使用した場合も、信号を劣化させることはありません。

**NOTE:**本出力は TRS ジャックです。完全な SansAmp 信号はチップ、リングはスピーカーシミュレーションなしで SansAmp 信号を伝送します。後項「スピーカーシミュレーション」を参照してください。

## 5 コントロール

SansAmp PSA を使用すると、真空管アンプのサウンドスペクトラムのトーンシェーピング特性にアクセスできます。これらのコントロールは、音色、ゲイン、ハーモニックトーンを調節する際に非常に便利です。このコントロールは、通常ストックアンプではアクセスできず、専門的な永久的改造によってのみ調節可能でした。たとえば、音色はさまざまな方法で調節できます。BUZZ、PUNCH、CRUNCH、DRIVE は、EQ セクションとは異なる調節幅を新たに提供します。ゲイン構造は GAIN で調節できます。これにより、ドライブコントロールとは異なる種類のオーバードライブが得られます。さらに、BUZZ、PUNCH、CRUNCH、DRIVE はそれぞれ、特定の周波数帯域内のゲイン構造に影響します。

## 5 コントロール

**GAIN：**

入力信号のゲインを調節します。

**BUZZ：**

ローエンドのブレイクアップとオーバードライブをコントロールします。矢印で示された中心点から時計回りに回すとブーストし、反時計回りに回すとカットできます。最大に近づくとつれ、激しく歪みます。適切な設定のために少しずつ増やしてください。よりクリアな歪みを作るには、ノブを中点または最小側に設定します。

**PUNCH：**

ミッドレンジのブレイクアップとオーバードライブの量を設定します。矢印で示された中心点からブーストまたはカットします。小さく設定すると、より柔らかい Fender® スタイルのブレイクアップが、設定を大きくすると、より激しく重い歪みが生じます。最大で、Marshall® アンプの前に配置されたミッドブースト位置のワウペダルに似た音を生成します。

**CRUNCH：**

トップエンドのブレイクアップとクランチを調節します。矢印で示された中心点からブーストまたはカットします。大きく設定すると、プレゼンスとアタックが引き出されます。低く設定すると、暖かなシングルコイルピックアップサウンドを演出します。

**DRIVE：**

Drive はパワーアンプの歪みの量を増やします。また、大音量でのサスティンを補います。ライブでは、レコーディングよりも少なく設定することをお勧めします。

**LOW HIGH：**

アクティブシェルビング EQ。12 時のユニティゲインから ±18dB のカットまたはブーストします。ピボットポイントは 1kHz です。

**LEVEL：**

出力レベルを調節します。

**TRIM：**

ライブパフォーマンスの場合、このコントロールはすべてのプリセットのレベルをグローバルにコントロールするため、ステージ上で各プリセットの音量を個別に設定する必要はありません。ですが、レベルが最小 / 最大に近い / 最大でプログラムされた設定がある場合、トリムポットはそれほど効果的ではないことに注意してください。

## 6 ディスプレイとスイッチ

### LED ディスプレイ：

アクティブなプログラム、ノブの設定が変更されたかどうか、プログラムが保存されたタイミング、MIDI 機能がアクティブになったタイミングを示します。(ディスプレイの機能に関する情報については、SansAmp PSA のプログラミングと MIDI の使用に関するセクションを参照してください。)



### SAVE スイッチ：

Save スイッチは、カスタム設定を SansAmp PSA のメモリに保存します。また、ファンクションメニューにアクセスする際にも使用します (後項を参照)。

### UP DOWN フットスイッチ：

一度押すと、プログラムを1つずつカウントアップまたはカウントダウンします。スイッチを長押しすると、プログラム番号がすばやく移動します。

### ACTIVE SEARCH フットスイッチ：

次の2つのモードを切り替えることができます。

#### Active Mode：

Up または Down フットスイッチを押すと、プログラム番号を1つずつ増やしたり減らしたりして、ステップスクロールできます。

#### Search Mode：

LED 数値ディスプレイが点滅します。Up または Down フットスイッチを押し続けると、プログラム変更情報を送信せずに、目的の場所に高速スクロールできます。ACTIVE SEARCH フットスイッチをもう一度押すと、Active Mode が再び有効になり、目的のプログラムに即座に変更されます。

## 7 プログラミング

### 注意：

工場出荷時のプリセットを含むプログラムナンバー (00 と 50 を除く) を全て上書きできます。ただし、保護スキームを変更することにより、プログラムの場所をロックすることを選択できます。ロックに関しては後項を参照してください。

プログラム 01-49 は工場出荷時のプリセットです。

プログラム 51-99 は、工場出荷時のプリセット 01-49 の複製です。

プログラム 100~127 は、すべてのノブが 12 時の位置に設定されています。

プログラム 00 および 50 は、バイパスです。

注：すべてアナログ回路であるため、特別なアルゴリズムはありません。個々のコントロールは、プリセットごとに変更されません。

## 7 プログラミング

### カスタムプログラムの保存：

カスタムプログラムを最初から作成する場合：

1. プログラムの場所を選択します。
2. 好みに合わせてコントロールを編集します。
3. [SAVE] ボタンを 2 回押します。ディスプレイは 3 回クルクルと回転表示し、選択したプログラム番号を表示し、点滅が停止したら保存完了です。

### プログラムのコピーおよび移動：

1. 移動またはコピーするプリセット番号を選択します。
2. [SAVE] ボタンを 1 回押します。ディスプレイの数字が点滅します。
3. UP スイッチまたは DOWN スイッチを使用して、保存する新しい場所に移動します。
4. [SAVE] ボタンをもう一度押します。ディスプレイは 3 回クルクルと回転表示し、選択したプログラム番号を表示し、点滅が停止したら完了です。

注：元のプリセット設定は、上書きされるまで変更されません。



### 既存の設定の再設定：

1. 編集する設定を選択します。
2. コントロールを好みに合わせて調整します。
3. [SAVE] スイッチを 2 回押します。3 回クルクルと回転表示し、選択したプログラム番号を表示し、点滅が停止したら完了です。

必要なカスタムプログラムを上書きしないように注意してください。

事故が発生する可能性があるため、プログラムをメモすることをお勧めします。

後で簡単に参照できるように、ノブの設定を書き、各プログラムに名前 (曲のタイトル、トーンの説明など) を書き加えると良いでしょう。

### プリセット内の個々のコントロール値を参照する：

プリセットを呼び出しても、コントロールノブの位置は、各パラメーターの実際に保存された位置には動きません。(モータライズノブではありません。) いずれかのノブ (Trim を除く) を回すと、SansAmp PSA は編集モードになり、「ロック解除」されます。その後、回路はそのコントロールの位置の値に戻ります。

メモリに保存されている設定からコントロールを変更すると、LED 数値ディスプレイの数字の1つが点滅し、もう1つが暗くなります。(プログラム 100 以上では、左の2つの数字が点滅し、1つの数字が暗くなります。)

## 7 プログラミング

プリセット内の個々のコントロール値を確認する：

プリセットを呼び出しても、コントロールノブの位置は、各パラメーターの実際に保存された位置には動きません。(モータライズノブではありません。) いずれかのノブ (Trim を除く) を回すと、SansAmp PSA は編集モードになります。その後、回路はそのコントロールの位置の値に戻ります。

メモリに保存されている設定からコントロールを変更すると、LED 数値ディスプレイの数字の1つが点滅し、もう1つが暗くなります。(プログラム 100 以上では、左の2つの数字が点滅し、1つの数字が暗くなります。)

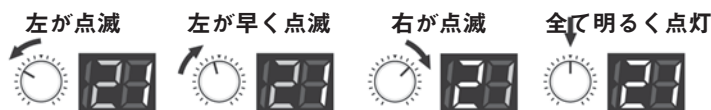
設定位置よりもノブが右に回されている場合、左の数字が点滅します。

設定位置よりもノブが左に回されている場合、右の数字が点滅します。

設定位置に近くにつれて、数字の点滅が早まります。

2桁、もしくは3桁の数字全てが明るく点灯する位置がプリセットされているノブの位置です。この機能は、プリセットでの各ノブの設定の保存位置を知りたいときに便利です。

プリセット位置が12時の位置の場合



必要に応じて、コントロール位置表示を変更して、数字ではなくダッシュまたは数値にすることができます。(後項 11-7 を参照してください。)

## 8 パフォーマンスモード

Active Mode/Search Mode ではなく、パフォーマンスモードを使用すると、最も頻繁に使用する3つのプログラムをフットスイッチに配置し、それぞれにすばやくアクセスできます。

パフォーマンスモードでのプリセットの呼び出し：

移動/コピーユーティリティを使用して、お気に入りのプリセットを 01、02、03 プログラムの場所に配置します。パフォーマンスモードのフットスイッチ 1、2、3 に割り振られます。

フットスイッチ 1 = プログラム 01 の場所

フットスイッチ 2 = プログラム 02 の場所

フットスイッチ 3 = プログラム 03 の場所

パフォーマンスモードに入るには、フットスイッチ 1 + 3 を同時に押します。ディスプレイに、中央の桁の位置に「1」が表示されます。3つのプリセットは、3つのフットスイッチのそれぞれからアクセスでき、それに応じて対応する数字が表示されます。対応するフットスイッチをもう一度押すと、PSA がバイパスになり、ディスプレイの中央の数字にダッシュ (-) が表示されます。パフォーマンスモードを終了するには、フットスイッチ 1 + 3 を同時に押します。

注：パフォーマンスモードで設定を調整すると、ディスプレイは 01、02、03 を表示し、変更を保存すると 1、2 または 3 の表示に戻ります。ただし、保存すると、保存されているプリセットが上書きされます。

## 9 MIDI

MIDI IN：

プログラムチェンジコマンドと、MIDI マップおよびプログラムダンプを受け入れます。

MIDI ジャックのピン 1 および 3 は、10V DC ファンタム電源を MIDI Mouse™ および MIDI Mongoose™ フットコントローラーに出力するように設定されています (後項を参照してください)。

## 10 スピーカーシミュレーション

キャビネットを複数のマイクでマイキングした様なスムーズなサウンドを再現します。この機能で使用するキャビネットに悪影響を及ぼすことはありません。スピーカーシミュレーションは EQ コントロールと連携して、全体的なサウンドをカスタマイズします。ただし、必要に応じて、スピーカースイッチ (🔊) を解除 (🔇) することで、スピーカーシミュレーションを無効にすることができます。

スピーカーシミュレーションの ON/OFF は、個々のプログラムのメモリに保存されます。

ON 状態では、Trim ノブが紫色に点灯します。

本機の出力は 1/4 インチ TRS ジャックです。チップは、スピーカーシミュレーション回路を通った信号を、リングはスピーカーシミュレーションなしで信号を送ります。この仕様は、デジタルワークステーションに録音するときステレオジャックで使用するためのものです。

最適リスニングを実現するために、スピーカーシミュレートされた信号をモニターして、スピーカーシミュレーションなしの純粋なトラックを録音できます。これにより、ミックスダウン時に、IR / デジタルスピーカーのシミュレーションを追加できます。

# 11 詳細設定と MIDI

本機にはノブや UP/DOWN スイッチだけではアクセスできない便利な機能が多数搭載されています。特に本機との MIDI フットコントローラーまたは他の MIDI 機器を使用する場合は、本項をよくお読みになり設定してください。

詳細設定メニューに入るには、プログラム 00 を選択し、SAVE ボタンを 1 回押します。

(バンク表示の数字が点滅します。)

UP ボタンと DOWN ボタンを使用して、次の機能から目的の機能を選択します。

- 00 詳細設定を終了する (本機プログラム 00 に戻る)
- 01 機能なし (今後のアップデートで使用予定)
- 02 MIDI マッピングの定義
- 03 0-127 / 1-128 バッチオフセット
- 04 プリセット保護
- 05 MIDI チャンネル選択
- 06 ファームウェアバージョン
- 07 コントロール位置表示変更
- 08 コントロールノブ無効化
- 09 機能なし (今後のアップデートで使用予定)

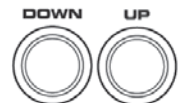
機能を選択後、[SAVE] ボタンをもう一度押すと、機能設定に入ります。



プログラム 00 (バイパス) に SAVE スイッチを 1 回押します



表示が点滅します。



目的の機能を選択します。



SAVE スイッチを一度押し、機能設定に入ります。

詳細設定は工場出荷状態にリセットすることも可能です。詳しくは 12 その他の機能と注意事項をご参照ください。

# 11 詳細設定と MIDI

01 機能なし (今後のアップデートで使用予定) :

現在詳細設定 01 には機能はありません。今後のアップデートで追加予定です。

02 MIDI マッピングの定義 :

この機能では、内部 MIDI マッピングを定義します。つまり、SansAmp PSA に、MIDI プログラムチェンジコマンドが来たときに呼び出すプログラムを設定します。

たとえば、MIDI フットコントローラーが Program 26 というプログラムチェンジコマンドを送信し、プリセット 15 番を呼び出して SansAmp PSA が Program 26 メッセージに回答するようにしたい場合、そのメッセージを適切な場所に設定します。

本機はデフォルトで受信したプログラム番号と同じ番号のプログラム番号を設定されて工場から出荷されます。つまり、MIDI 01 は Program 01 を呼び出します。

MIDI マッピングを変更するには、

前項の詳細設定へ入り、ファンクション 02 を選択し、SAVE スイッチを押します。

左の数字が点滅して右の数字が暗くなり、ディスプレイに MIDI プログラムの番号が表示されます。UP/DOWN スイッチを使用し、任意の番号を選択します。

SAVE ボタンを押し、右の数字が点滅します。選択した MIDI プログラム番号の影響を受ける本機のプログラムを UP/DOWN スイッチを使用し変更します。

[SAVE] ボタンを 2 回押して、変更を保存します。

ディスプレイが 00 に点滅し、詳細設定メニューに戻ります。

他の詳細設定を選択するか、もう一度 [SAVE] を押して終了します。

約 15 秒以内に選択を行わないと、ディスプレイの点滅が停止し、詳細設定メニューからプログラム 00 に戻ります。



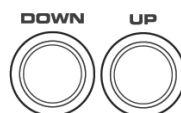
詳細設定メニューから、02 を選択します。



SAVE スイッチを一度押します。



左の数字が明るく右が暗くなり、MIDI プログラム番号を示します。



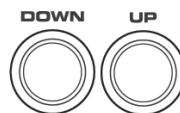
目的の MIDI プログラム番号を選択します。



SAVE スイッチを 1 回押します。



右の数字が明るく左が暗くなり、本機のプログラム番号を示します。



目的のプログラム番号を選択します。



SAVE スイッチを 1 回押します。



詳細設定メニューに戻ります。

# 11 詳細設定と MIDI

## 03 0-127 / 1-128 パッチオフセット

MIDI プログラムチェンジャーには、0～127 のプログラムナンバーグループを使用するものと、1～128 を使用するものがあります。本機能を使用して、対応するグループを変更できます。

詳細メニューより 03 を選択した後、ディスプレイに 00 または 01 が表示されます。

00：00-127（出荷時）

01：01-128

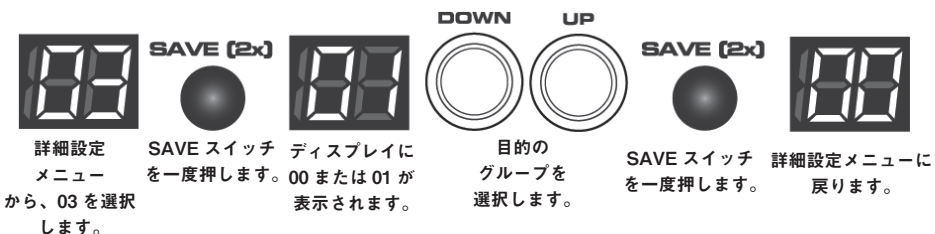
設定を変更するには、UP/DOWN ボタンを使用して 00 または 01 を選択します。

次に、[SAVE] スイッチを押して選択内容を保存します。

ディスプレイが 00 に点滅し、詳細設定メニューに戻ります。

新たな詳細設定を選択するか、もう一度 [SAVE] スイッチを押して終了します。

約 15 秒以内に選択が行われない場合、ディスプレイの点滅が止まり、プログラム 00 に戻ります。



## 04 プリセット保護

工場出荷時およびカスタムプリセットの保護レベルを変更できます。

詳細メニューより、04 を選択し、ディスプレイに 00、01、または 02 が表示されます。

00：すべてのプログラムを保護します。

01：プログラム 00-50 を保護します。

02：保護なし（出荷時設定）。すべてのプログラムは上書きできます。

注：バイパスである 00 および 50 は永続的にロックされており、上書きできません。

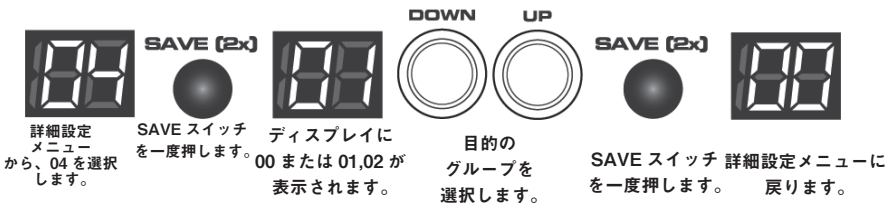
設定を変更するには、UP/DOWN ボタンを使用して 00、01、または 02 を選択します。

次に、[SAVE] スイッチを押して選択内容を保存します。

ディスプレイが 00 に点滅し、詳細設定メニューに戻ったことを示します。

他の詳細設定を選択するか、もう一度 [SAVE] スイッチを押して終了します。

約 15 秒以内に選択を行わないと、ディスプレイの点滅が停止し、プログラム 00 に自動的に移動します。



# 11 詳細設定と MIDI

## 05 MIDI チャンネルセレクト：

MIDI データを受信する MIDI チャンネルを設定します。Omni（任意またはすべてのチャンネルで受信）、または特定のチャンネル 1～16 に設定できます。

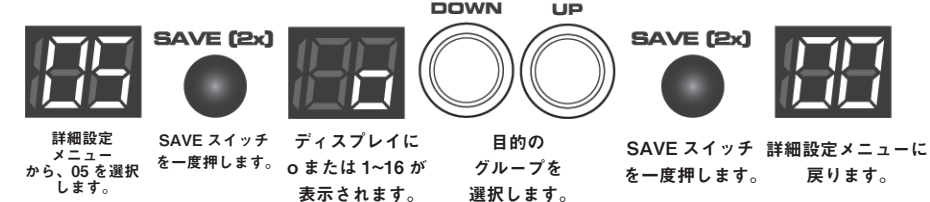
詳細メニューより 03 を選択した後、ディスプレイに現在の設定が表示されます。UP/DOWN ボタンを押して、Omni（右の数字に小さな「o」で示されるデフォルト値）、または 1～16 のいずれかの数字を選択します。

[SAVE] スイッチを押して選択内容を保存します。

ディスプレイが 00 に点滅し、詳細設定メニューに戻ります。

新たな詳細設定を選択するか、もう一度 [SAVE] スイッチを押して終了します。

約 15 秒以内に選択が行われない場合、ディスプレイの点滅が止まり、プログラム 00 に戻ります。



## 06 ファームウェアバージョン：

ファームウェアのバージョンを表示します。これを変更することはできませんが、ファームウェアアップデートがリリースされた時のための機能です（2020.04 現在）。

詳細メニューより 06 を選択した後、ディスプレイに 2桁の数字が表示されます。ソフトウェアのバージョンが表示された後、ディスプレイが 00 に点滅して、詳細設定メニューに戻ります。

新しいスペシャルページ機能を選択するか、もう一度 [保存] を押して終了します。

新たな詳細設定を選択するか、もう一度 [SAVE] スイッチを押して終了します。

約 15 秒以内に選択が行われない場合、ディスプレイの点滅が止まり、プログラム 00 に戻ります。



# 11 詳細設定と MIDI

## 07 プリセットコントロール位置表示変更：

プリセットの個々のコントロール位置を確認する(前項7プリセット内プリセット内の個々のコントロール値を確認する参照)際の表示方法を変更できます。

プリセットナンバー、ダッシュ、数値から選択できます。

詳細メニューより 06 を選択した後、ディスプレイに 00、01 または 02 が表示されます。

00：プリセットナンバー (出荷時)

01：ダッシュ

02：数値 (0-127)

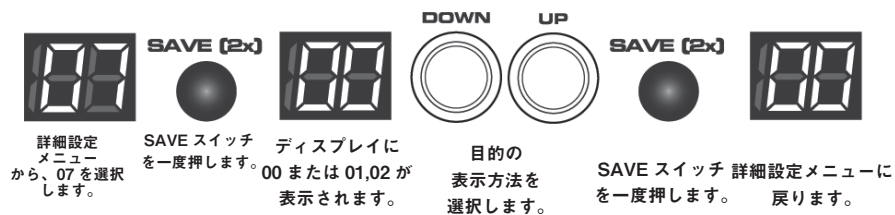
設定を変更するには、UP/DOWN ボタン使用して 00、01、02 を選択します。

次に、[SAVE] スイッチを押して選択内容を保存します。

ディスプレイが 00 に点滅し、詳細設定メニューに戻ったことを示します。

他の詳細設定を選択するか、もう一度 [SAVE] スイッチを押して終了します。

約 15 秒以内に選択を行わないと、ディスプレイの点滅が停止し、プログラム 00 に自動的に移動します。



## 08 コントロールノブ無効化

演奏中の不意の設定変更を防止するために Trim を除く 8 つのコントロールノブをすべて無効にします。すべてのプリセットはメモリに残り、MIDI からアクセスできますが、このモードでは各プログラムを再編集できません。

詳細メニューより、08 を選択すると、ディスプレイに 00、01 が表示されます。

UP/DOWN ボタン使用して 00、01 を選択します。

00：すべてのポットが有効 (出荷時の通常動作)

01：すべてのポットが無効

次に、[SAVE] スイッチを押して選択内容を保存します。

ディスプレイが 00 に点滅し、詳細設定メニューに戻ったことを示します。

他の詳細設定を選択するか、もう一度 [SAVE] スイッチを押して終了します。

約 15 秒以内に選択を行わないと、ディスプレイの点滅が停止し、プログラム 00 に自動的に移動します。



# 11 詳細設定と MIDI

## 09 機能なし (今後のアップデートで使用予定)：

現在詳細設定 09 には機能はありません。今後のアップデートで追加予定です。

# 12 その他の機能と注意事項

## 詳細設定の初期化：

保存されているプリセットを変更、消去せずに、詳細設定と MIDI マッピングを出荷時の工場出荷状態にリセットできます。

- 本機から電源取り外します。
- すべてのポットを反時計回りに最小にします。
- 電源を再接続する間、SAVE スイッチを押し続けます。(ディスプレイには、詳細設定のリセットを表す「Sr」が表示されます。)
- SAVE スイッチを 3 秒間押し続けます。
- 完了すると、ディスプレイに「01」と表示され、プログラム 01 から起動します。

## 工場出荷時のプリセット (01-49) の初期化：

工場出荷時のプリセット (01~49) のみをリセットするには、次の手順に従います。

- 本機から電源取り外します。
- すべてのポットを反時計回りに最小にします。
- UP スイッチと DOWN スイッチを同時に押し続けます。
- 電源を再接続します。ディスプレイには、「Fr」と表示されます。
- UP スイッチと DOWN スイッチを 3 秒間押し続けます。
- 完了すると、ディスプレイに「01」と表示され、プログラム 01 から起動します。

本機のコントロールは緻密なセッティングを可能にするため細かく設定されています。最大の効果を求める場合にも、すべてを最大に設定する必要はありません。例えばサウンドを明るくしたい時は、HI を上げるのではなく、LOW を下げてみてください。

本機のコントロールは緻密なセッティングを可能にするため細かく設定されています。最大の効果を求める場合にも、すべてを最大に設定する必要はありません。例えばサウンドを明るくしたい時は、HI を上げるのではなく、LOW を下げてみてください。

最適な設定を見つけるには、12 時のトーンコントロールから始めて、必要に応じてカットまたはブーストします。設定はアンプや環境によって大きく異なるため、その都度ベストなサウンドを探してください。

本機のノイズレベルは非常に低く設計されていますが、入力ソースから発生するノイズを増幅する可能性があります。本機のコントロールは異常に敏感であり、高レベルの出力を出すために最大レベルの入力を必要としません。本機に入るノイズを最小限に抑えるために、エフェクターは、トーンコントロールをフラットに設定してください。もしブーストする必要があるならば、ゆっくりと控えめに設定してください。シングルコイルピックアップはノイズを生成する可能性が高くなります。しっかりとノイズ対策を行ってください。

## 12 その他の機能と注意事項

ノブを回すと、小さなジッパーノイズが聞こえる場合があります。アナログ回路のデジタルがある場合、これは正常です。

多くのエフェクターを直列接続すると、グランドループ、ノイズ、ハム、アーティファクトなどが発生する恐れがあります。

演奏テクニックのダイナミクスとニュアンスに対する高い反応性を損なわないために通常、本体を本機に直接接続してください。

その他エフェクトを使用する際は一般的な使用方法として、

本機の前:ブースター、コンプレッション、ファズ、フェイザー/バイブ、オーバードライブ、ワウ等

バッファードバイパスは、「トゥルーバイパス」のポップとクリック、および複数のペダルを接続したときの高音痩せなどの欠点や、スイッチング回路や長いケーブルによる信号のロスを軽減します。

## 13 ファクトリープリセット

SOUND GROUP	PRESET	SOUND
Marshall® styles	00	Bypass
	01	Plexi
	02	Vintage
	03	Schenker
	04	JMP-I®
	05	High Gain
	06	Bluesbreaker
	07	Hendrix
	08	Van Halen I
	09	Classic Clean
Fender® styles	10	Stock
	11	B.B. King
	12	Stevie Ray
	13	Funk
	14	Champ®
	15	Twin®
	16	Super Bright
	17	Classic Rock
	18	Super Clean
	19	Jazz
Mesa/Boogie® styles	20	Mark I®
	21	Metallica
	22	Santana
	23	Clean
	24	Rectifier®
	25	Triaxis®
	26	Lead
	27	Rhythm
	28	Too Much Gain
	29	Mutant
Bass styles	30	SVT®
	31	Bassman®
	32	Jazz
	33	Metal
	34	Slap
	35	King's X
	36	Yes
	37	Lead
	38	Doug Wimbish
	39	Crimson
Miscellaneous styles	40	Fuzz Face®
	41	Triangle Muff
	42	Tubescreamer
	43	MXR+®
	44	Tele® Simulator
	45	American Woman
	46	Pantera
	47	Hiwatt®
	48	AC30® Queen
	49	Speaker Simulator
	50	Bypass